

調査件名 _____ 試験年月日 _____

試料番号 (深さ) _____ 試験者 _____

試料の状態 ¹⁾				土粒子の密度 $\rho_s^{3)}$ g/cm ³	
供試体の作製方法 ²⁾				4)	
土質名称				4)	
供試体 No.					
圧密前	高さ H_0	cm			
	外径 D_{o0}	cm			
	内径 D_{i0}	cm			
間隙圧係数 B	等方応力増加量 $\Delta\sigma$	kN/m ²			
	間隙水圧増加量 Δu	kN/m ²			
	測定に要した時間	min			
	B 値				
試験条件	軸方向応力 σ_{ac}	kN/m ²			
	側方向応力 (=外圧, 内圧) σ_{rc}	kN/m ²			
	背圧 u_b	kN/m ²			
	軸方向圧密応力 σ'_{ac}	kN/m ²			
	側方向圧密応力 σ'_{rc}	kN/m ²			
	異方圧密応力比 $\sigma'_{rc}/\sigma'_{ac}$ (=K) ⁵⁾				
圧密後	体積変化量 ΔV_c	cm ³			
	軸変位量 ΔH_c	cm			
	体積 V_c	cm ³			
	高さ H_c	cm			
	外径 D_{oc}	cm			
	内径 D_{ic}	cm			
	断面積 A_c	cm ²			
	乾燥質量 m_s	g			
	乾燥密度 ρ_{dc}	g/cm ³			
	間隙比 e_c ³⁾				
相対密度 D_{rc} ³⁾	%				
強度特性	せん断応力最大時	ねじりせん断強さ $[\tau_u, \tau_d]$	kN/m ²		
		せん断ひずみ γ_f ³⁾			
		間隙水圧 u_f	kN/m ²		
		最大有効主応力 σ'_{1f}	kN/m ²		
		最小有効主応力 σ'_{3f}	kN/m ²		
		$[\tau_u, \tau_d] / \sigma'_{ac}$			
	有効主応力比最大時 ³⁾	最大有効主応力 σ'_1	kN/m ²		
		最小有効主応力 σ'_3	kN/m ²		
トルク計容量		N·cm			
荷重計容量		N			
間隙水圧計容量		kN/m ²			
回転角計容量		rad	供試体の破壊状況		
セル圧計容量		kN/m ²			
せん断ひずみ速度 $\dot{\gamma}$		%/min			
ゴムスリーブの弾性ヤング率 E_m		kN/m ²			
ゴムスリーブの厚さ t_m		cm			

計測器の位置, 金属製リブの位置, 寸法, 個数	特記事項	<ol style="list-style-type: none"> 1) 試料の採取方法, 試料の状態 (塊状, 凍結, ときほぐされた) 等を記載する。 2) トリミング法, 負圧法の種別, 凍結試料の場合は解冻方法等を記載する。 3) 必要に応じて記載する。 4) 必要に応じて粘性土の場合は液性限界, 塑性限界, 砂質土の場合は最小乾燥密度, 最大乾燥密度等を記載する。 5) 異方圧密を行った場合に記載する。
--------------------------------	------	--

[1kN/m² ≒ 0.0102 kgf/cm²]